

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和3年度	令和2年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	765,067	843,891	△ 78,824
減価償却費	3,817,807	3,696,032	121,775
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,720	19,686	△ 3,966
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 657	△ 652	△ 5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 2,383	△ 1,177	△ 1,206
長期前受金戻入額	△ 2,116,640	△ 2,065,958	△ 50,682
受取利息及び配当金	0	△ 8	8
支払利息及び企業債取扱諸費	789,240	827,207	△ 37,967
固定資産除却損	33,480	49,200	△ 15,720
固定資産売却損	27	—	27
未収金の増減額(△は増加)	△ 777,829	308,991	△ 1,086,820
貯蔵品の増減額(△は増加)	△ 2,300	—	△ 2,300
未払金の増減額(△は減少)	△ 45,525	145,365	△ 190,890
預り金の増減額(△は減少)	7,060	8,065	△ 1,005
小 計	2,483,067	3,830,642	△ 1,347,575
利息及び配当金の受取額	0	8	△ 8
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 789,240	△ 827,206	37,966
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,693,827	3,003,444	△ 1,309,617
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 7,033,485	△ 6,558,556	△ 474,929
有形固定資産の売却による収入	25	—	25
国庫補助金等による収入	2,527,668	2,190,090	337,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,505,792	△ 4,368,466	△ 137,326
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	1,400,000	750,000	650,000
一時借入金の返済による支出	△ 1,400,000	△ 750,000	△ 650,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,759,500	561,700	1,197,800
その他の企業債による収入	195,800	415,100	△ 219,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,258,338	△ 3,095,255	△ 163,083
その他の企業債の償還による支出	△ 535,808	△ 490,988	△ 44,820
企業債前借による収入	3,302,100	4,356,600	△ 1,054,500
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	500,000	—	500,000
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金の返済による支出	△ 500,000	—	△ 500,000
他会計からの繰入による収入	501,569	446,901	54,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,964,823	2,194,058	△ 229,235
資金増加額 (又は減少額)	△ 847,142	829,036	△ 1,676,178
資金期首残高	2,707,865	1,878,829	829,036
資金期末残高	1,860,723	2,707,865	△ 847,142

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー(CF)で表される。

資金期末残高は、前年度に比べて8億4,714万2千円減少し、18億6,072万3千円となった。

投資活動のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動による資金で調達している形となっている。